

第6学年 国語科学習指導案

日 時 平成16年10月13日(水)

児 童 男子11名 女子10名 計21名

指導者 教 諭 佐藤 真理子

- 1 単元名 話し合って考えを深め、意見文にまとめよう
教材名 二つの意見から

- 2 単元について

- (1) 単元の主目標

学習指導要領国語科5・6年生の「書くこと」に関する目標は、「目的や意図に応じ、考えた事などの筋道を立てて文章に書くことができるようにするとともに、効果的に表現しようとする態度を育てる」である。その中でも特に、内容のウ「自分の考えを明確に表現するため、文章全体の組立ての効果を考えること」と、エ「事象と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること」を中心に指導するために本単元を設定した。

主目標は、「討論会で深まった自分の意見が相手によく伝わるように文章にまとめる」である。

その他に、内容のア「目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に書くこと」についても、単元の学習を通して指導していく。

- (2) 単元について

本単元では、まず方言と共通語に対する自分の意見を支える調べ活動を行い、それをもとに討論会を開く。そして、そこでの意見の交流により深まった自分の考えを文章にまとめる活動を通して更に確かなものにするのをねらいとしている。本教材「二つの意見から」では、意見文を書く際に、自分の考えを相手によく伝えるために文章全体の組立ての効果を考えることや、事象と感想、意見とを区別して書いたり、必要に応じて詳しく書いたり簡潔に書いたりすることを学習する。

- (3) 子供の実態

子供たちはこれまで、「問い合わせの手紙」で用件や意図が相手に正確に伝わるように手紙を書くことを、また「ガイドブックを作ろう」で目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすることを、そして5年「わたしたちの学校生活」で文章全体の組立ての効果を考えて書くことを学習した。

日常の活動の中では、表現の効果を考えて言葉の使い方を工夫して日記や行事作文等を書いたり、自分なりに構成を工夫して書いたりすることができるようになってきている。しかし、事象と意見、感想を区別することや、文章全体の組立ての効果をはっきりと意図して書くまでには至っていない。

- (4) 単元と子供の関わり

意見文は、ある事柄や出来事について自分の意見を述べて相手を動かそうとするものである。そのために、意見とそれを生み出すもとなった理由から構成される。その際、多くの場合は、一面的な見方だけで自分の意見を述べてしまいがちである。

そこで本単元では、方言と共通語に対する自分の意見とは反対の立場の相手と、意見や理由を交流することによって、自分の意見のもとになった理由を再検討し、考えを深め、より説得力のある文章を書くことができるようにしたいと考えている。より説得力のある文章とするためにも、事実と感想、意見をしっかりと区別して書くことや、文章全体を見通して効果的な組立てを考えることを学ばせたい。

(5) 指導にあたって

第1次では、討論会で意見を戦わせることだけでなく、書き上げた意見文を交流することによって、より深く説得力をもたせて自分の考えを相手に伝えるという学習の見通しをもたせることにより、目的意識や相手意識をもたせたい。

本時では、文章の構成に迷わずに書き進められるように、構成表をもとにさせることはもちろんのこと、事前の学習で使用した教材文で書く視点を確認したい。そして子供へ支援する際には、文章全体の話の流れに気を付けて、3つの視点の工夫が部分的なものにならないように書くことを助言したい。

評価活動は、相互に評価し合いながら各段階の書く活動を進め、単元の最後には意見文を交換して交流し合い、自分の考えが相手に伝わっているかどうかを実感できるように、感想を言葉で伝え合う場を設定したい。

3 単元指導目標

単元の主目標

討論会で深まった自分の意見が相手によく伝わるように文章にまとめることができる。

【国語への関心・意欲・態度】

討論会のメモをもとに、自分の意見が相手によく伝わるように文章にまとめようとする。

【書くこと】

自分の意見を、討論会のメモや調べたことをもとにして事象と感想・意見を区別し、必要に応じて詳しく書いたり簡潔に書いたりすることができる。 (書 エ)

自分の意見が相手によく伝わるように文章全体の構成を考えて書くことができる。

(書 ウ)

【話すこと・聞くこと】

方言と共通語の使われ方について、調べたことをもとに自分の立場をはっきりさせて討論することができる。 (話・聞 ウ)

【言語事項】

自分の意見が相手に伝わるような言葉の使い方や文章の構成を理解することができる。

(言語 オ)

4 単元指導計画（11時間）

過程	時間	学習活動	評価規準
第1次	1	方言と共通語の使われ方についての自分の考えをもつ。 ・教材文から、言葉に対して様々な感じ方や考え方があることを理解する。 ・学習の見通しをもつ。	方言と共通語の使われ方について自分の考えを明らかにする。 【話・聞】
	2・3	資料を集め、討論会の準備をする。 ・自分の立場の理由をはっきりさせ、それを支える事例を集める方法を考える。 ・資料の分類・整理の仕方を理解し、調べたことをメモする。	自分の考えを支える理由となる事例を集め、討論会の準備をする。 【話・聞】
	4	討論会シートに自分の立場や理由、事例などを整理して、記入する。	自分の立場を明確にし、シートに記入している。 【話・聞】
	5	討論会を行う。 ・友達の意見や理由をメモしながら討論会を進める。	自分の意見と友達の意見を比較しながら、討論会を行っている。 【話・聞】
	第2次	6	討論会を生かした意見文の書き方を理解する。 ・教材文をもとにして、段落の構成や段落の繋がり方、事実と意見・感想を書き分ける文末表現などについて学ぶ。
7		文章全体の構成を考える。 ・自分が調べたことのメモや討論会シートをもとにして、構成を考える。	前時の学習を生かして文章全体の構成を考えようとしている。 【関】 討論会を生かして適切な事例を挙げながら、「意見・理由・結び」の構成を考えている。 【書】 意見文の構成を理解している。 【言】
8・9 本時		構成表をもとに、意見文を書く。 ・事前に学習した書き方の視点に沿って、前半と後半を書く。	自分の考えが相手によく伝わるように意見文を書こうとしている。 【関】 必要に応じて詳しく書いたり簡潔に書いたりしている。書き出しや文末表現などに気を付けながら、自分の考えが相手によく伝わるように書いている。 【書】 書き出し、文末表現、接続語、指示語などの使い方を理解している。 【言】
第3次	10	意見文を読み直し、推敲する。 ・友達からの助言も参考にしながら推敲し、清書する。	友達の助言を参考にしながら、よりよい文章になるように推敲しようとしている。 【関】 友達の文章の構成や表現のよさに気付いたり、自分の文章を視点に沿って推敲したりしている。 【書】 言葉の使い方に関心をもって見直している。 【言】
	11	意見文を交換し、意見交流をする。 ・お互いの意見文を読んだ感想を書く。	友達の伝えたいことを読み取るようとしている。 【関】 自分の考えと比較しながら、友達の伝えたいことを読み取っている。 【書】 表現のよさを見つけながら読んでいる。 【言】

5 本時の指導

(1) ねらい

【書くこと】自分の考えが相手によく伝わるように、事実と意見を区別し、必要に応じて詳しく書いたり簡潔に書いたりすることができる。

(2) 本時の展開(9/11時間)

過程	学 習 活 動	・指導上の留意点 評価
つ か む 5	<p>1 学習課題の把握 めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 自分の考えがよく伝わるように意見文を書こう。 </div> <p>2 視点の確認 自分の意見が相手によく伝わるような文章を書くための視点を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段落の書き出しや接続語 (話の筋が通るようなつながり) ・事実と意見を区別して書く (文末表現) ・具体例を入れて書く (必要に応じて詳しく書く) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習課題を確認させる。 ・教材文や例文をもとに学習した、意見文を効果的に書くための視点を確認し、本時の課題を把握させる。 ・事前に作成した構成表を見直して、自分が伝えたいことを確認する。
ふ か め る 30	<p>3 記述 視点に気を付けながら後半部分を記述する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・討論会で出た、違う立場の意見 ~結び 	<p>事実と意見・感想を区別し、必要に応じて詳しく書いたり簡潔に書いたりしている。また、伝えたいことの筋が通るように、段落の書き出しや接続語の効果を考えながら書いている。</p> <p>A 構成表に沿って、事実と意見・感想を区別したり、必要に応じて詳しく書いたり簡潔に書いたりしながら意見文を書いている。討論会で深まった考えをしっかりと書いている。 構成表の組立てに沿って書いている。 例文の文末表現を参考にしたり自分で考えたりしながら、事実と意見・感想を区別して書いている。 適切な事例を挙げ、話の筋が通るような展開で書いている。 段落の書き出しや接続語を、例文を参考にしたり、自分で考えたりしながら書いている。</p> <p>B 構成表に沿って事実と意見・感想を区別したり必要に応じて詳しく書いたり簡単に書いたりしながら意見文を書いている。 構成表の組立てに沿って書いている。 例文の文末表現を参考にしながら事実と意見・感想を区別して書いている。 話の筋が通るように違う立場の意見を詳しく書いている。 段落の書き出しや接続語を例文を参考にしながら書いている。</p> <p>⊚個別に対話しながら、教材文の書き出しや接続語に続く文を考えさせる。 メモをどのように繋いでいくと良いのか、指導する。 (個人診断票から)</p>
ま と め る 10	<p>4 本時の学習のふり返り 書いたものを交流し合い、友達の書き方の良いところを見つけたり、助言し合ったりする。</p> <p>自己評価 相互評価</p> <p>代表者1名の作文を紹介する。</p> <p>5 次時の確認 全体を見直して、清書することを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部分的な表現のよさだけでなく、伝えたいことの筋が通っているか全体の内容的な評価もできるようにさせる。 視点に即して自己、あるいは相互に評価することができる。 (評価シート) 相互評価に戸惑うときは、本時の視点から一つ挙げて、友達の作文を読むように助言する。 (個人診断票から)